

カピックセンター周辺の昆虫について

大隅半島最高峰がある高隈山の麓にあるカピックセンター周辺には、スギヒノキ植林が多いのですが自然林もいくつか残されており、夏の夜にはカブトムシやヒラタクワガタ、ミヤマクワガタなどが外灯に飛来します。高隈山の山頂部はブナを含む照葉樹林帯なので、キリシマミドリシジミやオニクワガタ、オオチャイロハナムグリ、セダカコブヤハズカミキリなどが見られます。高隈溪谷には生きた化石と言われるムカシトンボやムカシヤンマが見られ、スギタニルリシジミやコツバメ、トラフシジミ、サカハチチョウの生息地です。水田も多いので、その水路では時期になるとゲンジボタルが飛び交います。少し離れた甫与志岳や稲尾岳などの肝付山地や佐多岬にはツマベニチョウなどの南方系の昆虫が生息しており、全国から愛好者が訪れています。その肝付山地でしか見られない昆虫は、オオスミドリカミキリ、オオスミヒゲナガカミキリなどで、屋久島との共通種も見られます。生物の分布を調べるにはとても面白い地域が大隅半島です。

虫央堂 塚田拓



サカハチチョウ



スギタニルリシジミ



セダカコブヤハズカミキリ